

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表		データグラフ	
	内容	項目数		平均
	「乳児保育」	15		4.53
	「3歳未満児保育」	26		4.19
	「3歳以上児保育」	53		3.96
	「教育保育の配慮事項」	15		4.33
	「健康・安全」	29		4.21
	「子育ての支援」	18		4.28
	「職員の資質向上」	9		3.89
	計	165		4.16
総合 評価	<p>子ども一人ひとりの興味関心に合わせたプロジェクト保育を行い、子どもたちが主体的にあそび出せる環境を整えることができたように感じます。目的を持って毎日戸外に出ることで自然との関わりや人と人との多様な関わりを中心に子どもたちがのびのびと育つ姿が見られる。商業施設内にある立地ということで、周囲の近隣や地域との連携について特殊にはなるので、そこを次年度の課題の一つとして取り組んでいきたい。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
職員・職員の家族との「信頼」の構築	<p>〔意欲ある職場環境〕 定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職場環境づくりの推進</p> <p>個別のメンタルヘルスを目的に個別面談を行う（年2回）</p>
こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	<p>〔受容的環境の確立〕 人的・物的両面において、受容的環境を確立し、子ども・高齢者・障害者が信頼感と安心感を持って生活出来ているかの検証・改善と報告</p> <p>質の向上委員会を中心に人権擁護のためのセルフチェックリストをもとに話し合いを行い「養護と教育」について深めていく（年2回）</p>
保護者との「信頼」の構築	<p>〔保護者等のニーズの把握・理解〕 保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進</p> <p>保護者に来ていただく行事毎にアンケートを実施する（年2回以上）</p>